



# 非アルコール脂肪肝炎(NASH) 新規治療法の開発

浪崎 正

Tadashi Namisaki

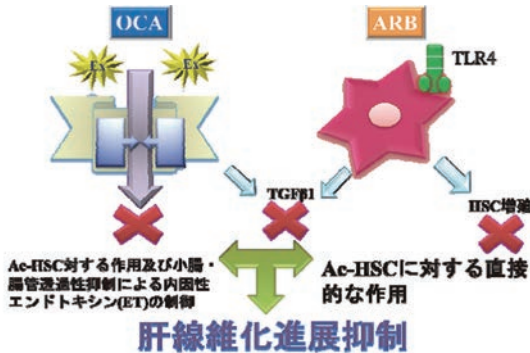
消化器内科学／講師

■キーワード NASH 肝線維化、肝星細胞

臨床

## シーズ概要

非アルコール性脂肪肝炎(NASH)をFarnesoid X receptorの作動薬であるオパチコール酸(OCA)の活性化肝星細胞(As-HSC)からの炎症性サイトカイン(TGFβ)発現抑制と腸管透過性抑制作用に加え、アンギオテンシンⅡ受容体阻害薬(ARB)のAs-HSCに対する直接(増殖抑制)作用の協調効果によりNASH肝線維化進展が顕著に抑制される。



## 研究成果の応用可能性

肝線維化に重要な役割を果たしているAs-HSCに対して異なる作用機序を有する薬剤を同時に投与することが重要となる。配合剤などによる臨床応用が期待される。

## Appeal Point

アピールポイント

既存薬剤の組み合わせによる新規治療法の開発

## 関連文献／特許

- 産業財産権の名称:『FXRアゴニストとARBの組み合わせ医薬』  
発明者: 浪崎 正、吉治 仁志  
権利者: 大日本住友製薬株式会社  
国内出願: 特願2016-064475  
国際出願: [PCT出願] PCT/JP2017/012448  
[台湾出願] 106110180